

科目名	人権を考える						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	秋学期	開講学部等	共通教育科目	配当年次	1 年次	単位数	2 単位
教員名	戸田 五郎, 灘本 昌久, 服部 達也						

授業概要／Course outline

現代ほど人権・平等・公正を求める時代はない。それは、日本にとどまらず、全世界的現象である。しかし、人権とは何かということは、必ずしも自明のことではない。本講義においては、さまざまな課題について、人権をテーマに考え、各自が人権に如何に向き合って生きて行けるのかをさぐる。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
- 動画配信を閲覧して、各人の考えを深める

授業内容・授業計画／Course description・plan

【灘本昌久】

授業内容

本講義では、日本における人権問題の歴史を学ぶ。

授業計画

第1回 人権問題概論 1

第二次世界大戦後の、日本における人権のあゆみを概観し、それぞれの時代の人権問題を概観する。

第2回 人権問題概論 2

第二次世界大戦後の、日本における人権のあゆみを概観し、それぞれの時代の人権問題を概観する。

第3回 新しい部落史とアニメ「もののけ姫」

この30年間に飛躍的發展をとげた新しい「部落史」について解説する

第4回 発達障害

発達障害の中の「アスペルガー症候群」について、理解を深める

★オンデマンド 性同一性障害について

性的マイノリティーのうちの性同一性障害について考える

オンデマンド授業は約90分の動画を11月30日までにmoodleで配信する。

【服部達也】

授業内容

本講義では、犯罪・非行の背景には、差別や格差、孤立、生活苦などの、人としての尊厳に関わる困難な環境が存在しており、犯罪者・非行少年は、加害者になる前は生き辛さを抱えた被害者であったということを具体例を示しながら解説し、厳罰ではなくそこへの対応こそが重要であることを考えていく。

授業計画

第5回 犯罪・非行の原因となる生き辛さについて①（貧困・格差）

人を犯罪・非行に追い込む要因としての現在の深刻な貧困・格差問題について、具体的なデータを示しながら解説していく。

第6回 犯罪・非行の原因となる生き辛さについて②（虐待）

人を犯罪・非行に追い込む要因としての虐待問題について、児童相談所及び児童養護施設並びに少年サポートセンターの実情を紹介しながら解説していく。

第7回 犯罪・非行の原因となる生き辛さについて③（女子への性的虐待・性的搾取）

女子少年院収容者の多くが家庭での性的虐待・性的搾取の被害者であり、そのことが彼女らのその後の不適応行動に繋がっていることを少年院での実務経験に基づきながら解説していく。

第8回 犯罪加害者家族の置かれている状況について

犯罪・非行の加害者の家族が社会から峻烈な迫害を受け、こどもの学習権等の人権が侵害されている我が国の現状を、関連メディアコンテンツの視聴等を通して解説していく。

第9回 犯罪加害者家族支援の現状について

犯罪・非行の加害者の家族の人権を守るために活動している支援団体の実践内容を解説し、加害者家族も「隠された被害者」であることを理解させる。

【戸田五郎】

授業内容

国家は主権に基づき、外国人の入国の許否に関し原則として裁量権を有する。しかし、人権の国際的保障の発展を背景として、外国人の人権の保護という観点から、この裁量権は様々に制約を受けるようになっている。私（戸田）の担当部分では、主として国際法の観点から、外国人の出入国・在留と難民の国際的保護の問題を取り上げ、初学者向けにやさしく解説する。

授業計画

第10回 外国人の出入国と人権

国家はその裁量権に基づき、外国人の入国を完全に禁止することも、あるいは逆に無制限に認めることもできる。しかしそのような両極端をとる国はほぼ無く、外国人に対し一定の条件のもとに入国と在留を認めるのが一般的であり、そのために諸国は出入国管理制度を置いている。この授業では日本の出入国管理制度を中心に、外国人の人権の保障という観点から解説する。

第11回 犯罪人引渡し・退去強制と人権

外国人はその意思に反して在留国からの出国を強制され、国籍国その他の国に引き渡されたり、送還されたりすることがある。引渡先または送還先において当人が重大な人権侵害を受ける蓋然性がある場合、引渡しまたは送還は禁じられるという原則が国際法上確立している。この授業では死刑を題材にこの問題を検討する。

第12回 難民の国際的保護

難民とは、広義には様々な理由で国籍国を追われ、国外に出ることを余儀なくされている人々を指す。難民保護のための国連機関である国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）が2021年に支援の対象としている人々の数は1億に近い。この授業では難民の国際的保護の歴史と現状を、日本の状況も交えて紹介する。

第13回 移住労働者問題

国連では「全ての移住労働者及びその家族の構成員の権利の保護に関する国際条約（移住労働者権利条約）」が2000年に採択され、発効している。日本は未批准であるが、少子高齢化の進行に伴う労働人口の減少への対応として、外国人労働力に頼らざるを得ない状況が生じてきている。技能実習制度の育成就労制度による置き換えが予定され、特定技能の在留資格で働く外国人が増加しつつある現状において、労働者としての、そして住民としての外国人の権利の保障は十全になされているのかについて検討する。

第14回 出入国管理・難民関連事例の検討

最終回は、出入国管理や難民認定を巡って日本の裁判所で争われた代表的な事例を紹介し、日本の出入国管理体制及び難民認定制度が抱える課題について検討する。

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回 人権問題概論 1

【事前学習】事前にmoodle上に掲載した参考文献を読んで理解に務めること。（所要時間90分）

【事後学習】moodle上に掲載した参考文献をもとに授業を振り返り、理解の定着を図る（所要時間90分）

第2回 人権問題概論 2

【事前学習】事前にmoodle上に掲載した参考文献を読んで理解に務めること。（所要時間90分）

【事後学習】moodle上に掲載した参考文献をもとに授業を振り返り、理解の定着を図る（所要時間90分）

第3回 新しい部落史とアニメ「もののけ姫」

【事前学習】事前にmoodle上に掲載した参考文献を読んで理解に務めること。（所要時間90分）

【事後学習】moodle上に掲載した参考文献をもとに授業を振り返り、理解の定着を図る（所要時間90分）

第4回 発達障害

【事前学習】事前にmoodle上に掲載した参考文献を読んで理解に務めること。（所要時間90分）

【事後学習】moodle上に掲載した参考文献をもとに授業を振り返り、理解の定着を図る（所要時間90分）

★オンライン 性統一性障害

【事前学習】事前にmoodle上に掲載した参考文献を読んで理解に務めること。（所要時間90分）

【事後学習】moodle上に掲載した参考文献をもとに授業を振り返り、理解の定着を図る（所要時間90分）

【服部達也】

第5回 犯罪・非行の原因となる生き辛さについて①（貧困・格差）

【事前学習】事前にmoodle上に掲載した参考文献を読んで理解に務めること。（所要時間90分）

【事後学習】moodle上に掲載した参考文献をもとに授業を振り返り、理解の定着を図る（所要時間90分）

第6回 犯罪・非行の原因となる生き辛さについて②（虐待）

【事前学習】事前にmoodle上に掲載した参考文献を読んで理解に務めること。（所要時間90分）

【事後学習】moodle上に掲載した参考文献をもとに授業を振り返り、理解の定着を図る（所要時間90分）

第7回 犯罪・非行の原因となる生き辛さについて③（女子への性的虐待・性的搾取）

【事前学習】事前にmoodle上に掲載した参考文献を読んで理解に務めること。（所要時間90分）

【事後学習】moodle上に掲載した参考文献をもとに授業を振り返り、理解の定着を図る（所要時間90分）

第8回 犯罪加害者家族の置かれている状況について

【事前学習】事前にmoodle上に掲載した参考文献を読んで理解に務めること。（所要時間90分）

【事後学習】moodle上に掲載した参考文献をもとに授業を振り返り、理解の定着を図る（所要時間90分）

第9回 犯罪加害者家族支援の現状について

【事前学習】事前にmoodle上に掲載した参考文献を読んで理解に務めること。（所要時間90分）

【事後学習】moodle上に掲載した参考文献をもとに授業を振り返り、理解の定着を図る（所要時間90分）

【戸田五郎】

第10回 外国人の出入国と人権

【事前学習】事前にmoodle上に掲示する参考資料を各自でダウンロードして読んでおくこと（所要時間90分）

【事後学習】毎回の授業で提示する、更に考えるべき論点について、各自で検討しておくこと（所要時間90分）

第11回 犯罪人引渡し・退去強制と人権

【事前学習】事前にmoodle上に掲示する参考資料を各自でダウンロードして読んでおくこと（所要時間90分）

【事後学習】毎回の授業で提示する、更に考えるべき論点について、各自で検討しておくこと（所要時間90分）

第12回 難民の国際的保護

【事前学習】事前にmoodle上に掲示する参考資料を各自でダウンロードして読んでおくこと（所要時間90分）

【事後学習】毎回の授業で提示する、更に考えるべき論点について、各自で検討しておくこと（所要時間90分）

第13回 移住労働者問題

【事前学習】事前にmoodle上に掲示する参考資料を各自でダウンロードして読んでおくこと（所要時間90分）

【事後学習】毎回の授業で提示する、更に考えるべき論点について、各自で検討しておくこと（所要時間90分）

第14回 出入国管理・難民関連事例の検討

【事前学習】事前にmoodle上に掲示する参考資料を各自でダウンロードして読んでおくこと（所要時間90分）

【事後学習】毎回の授業で提示する、更に考えるべき論点について、各自で検討しておくこと（所要時間90分）

授業の到達目標／Expected outcome

人権問題について、自分の頭で考え判断できる知識・思考方法と感性を養う。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・思考力
- ・幅広い教養

履修上の注意／Special notes, cautions

この科目は、現代的な課題であるため、授業以外にも、ニュースや新聞、ネットなどで、時々の人権問題について関心をもってください。

評価方法／Evaluation

定期試験により評価する（100％配点）

教 材／Text and materials

【灘本昌久】

moodle上で指示しますので、参照してください。

【服部達也】

参考書：石井光太「虐待された少年はなぜ、事件を起こしたのか」（平凡社，2019年）

：中村すえこ「女子少年院の少女たち」（さくら舎，2020年）

：阿部恭子「加害者家族支援の理論と実践」（現代人文社，2015年）

【戸田五郎】

授業中に適宜指示します。

質問や相談の方法／Instructor contact

【灘本昌久】

- ・ 研究室：第3研究室棟16研究室
- ・ オフィスアワー：火曜 12:30-13:10（研究室を訪問する場合は原則、事前連絡のこと。メールでの相談も可）
- ・ 連絡先：moodleに記載するメールアドレス

【服部達也】

- ・ 研究室：第2研究室棟 502研究室
- ・ オフィスアワー：水曜 10:45~12:15（研究室を訪問する場合は原則、事前連絡のこと。メールでの相談も可）
- ・ 連絡先：moodleに記載するメールアドレス

【戸田五郎】

- ・ 研究室：第2研究室棟 559研究室
- ・ オフィスアワー：金曜 12:30~13:00（研究室を訪問する場合は原則、事前連絡のこと。メールでの相談も可）
- ・ 連絡先：moodleに記載するメールアドレス